

日本共産党がみなさんにお届けします

島本民報

2016年11月20日（通巻第1401号）
発行：日本共産党島本町委員会
TEL・FAX 962-4003

【連絡先】
かわの恵子 島本町水無瀬2-3-3-506
☎ 962-1708
メール：k3kawano@yahoo.co.jp
佐藤かずこ 島本町若山台1-2-48
☎ 962-6103
メール：satokiki0815@yahoo.co.jp

えっ！やまぶき園が民設民営に？

日本共産党

議会の論議も経ず、建替え民営化は拙速では？

◆移転新設・耐震化は
急ぐべきですが
町はやまぶき園の今後の方針案について、10月末に各議員に説明しました。

「町立での建設では国の補助が出ない」との理由で、民営化を打ち出しています。

これまでの事業に加えて、知的障がい（身体障がいも含む）ショートステイと一般相談支援事業を新たに始め、必要なエレベーターや入浴施設も付けることが想定されています。

◆12月議会に
民営化関連議案が提案へ
本年度中に事業者募集要項をつくり、整備法人を公募・選定を済ませ。17年度には整

備法人との調整打ち合わせ、府と国庫補助の協議へ、18年度には整備法人に町有地を貸与、国庫補助内示を受け着手、19年度開設を予定します。

◆議会での論議・住民の
パブリックコメント無し？
健康福祉部が、方針を発表する前後で、協議会や各障がい児者関係団体に対し、精力的に説明、意見を取り入れるなど行ってきたことは、近年にない取り組みだと、議員団は大いに評価をしています。

◆党議員団は質問状を提出
11月16日付で「民営化後、町有地の無償貸与はどうか」「一般相談事業の相談員は、

「一般相談事業の相談員は、

専任で配置する」など25項目の要望・質問状を出しました。



佐藤かずこ

議会も十分な調査・議論を通じて結論を出すべきだと思います。

| | |
|------|---------------------------------------|
| 名称 | 島本町立やまぶき園 |
| 事業内容 | 知的障がい者通所施設（生活介護・就労継続支援B型） 特定相談支援事業 |
| 所在地 | 青葉2丁目12番14号（町立第三保育所跡） |
| 開設年月 | 1992年4月（町直営から民間委託、指定管理へ移行） |
| 運営法人 | 社会福祉法人四天王寺福祉事業団（指定管理者） |
| 定員 | 40人（生活介護30人・就労継続支援B型10人） |
| 建物 | 建築時期1973年 |

し尿処理 高槻市に委託

東上牧の衛生化学処理場跡地は
高槻市に無償譲渡



かわの恵子

されます。

住民ホール跡地利用が可能に
町が移転先として予定していた、住民ホール跡地は新たに町として有意義に使用することが可能になります。

日本共産党町会議員団は、新しい施設の建設費、独自の処理費・人件費等維持管理費の軽減になること。また住民ホール跡地利用が可能になること。現施設の撤去が高槻市民の住民福祉増進につながること…などから、規約案に賛成しました。

高槻市とのさらなる信頼回復へ
今後の広域行政に取り組むにあたっては、今回のし尿処理の高槻市への委託に至る紆余曲折について、職員も議員も振り返り、今後の教訓にしなければなりません」と意見表明を行いました。

日本共産党 党員大募集中

18歳以上の日本国民で、日本共産党の綱領と規約を認める人は、党員になることができます。

市民と野党の共同で 安倍暴走政治ストップ

憲法改悪、共謀罪、戦争法・南スーダンへの自衛隊の任務拡大、沖縄高江・ヘリパッド建設、原発再稼働、医療・介護の負担増、TPP国会批准＝安倍政権は、参院選中に“争点隠し”していた問題を、次々と打ち出しています。
日本共産党は国民の立場で対案をしめし、安倍暴走政治にも、これを助ける『維新政治』にもきっぱり対決、市民・野党と共同してたたかいます

「しんぶん赤旗」をお読みください

日刊紙 3,497円 日曜版 823円

お問い合わせ、お申し込みはお近くの党事務所または党員・議員か下記まで。
日本共産党大阪府委員会 〒543-0012 大阪市天王寺区空堀町2-3 TEL06-6762-8771

日本共産党島本のホームページをぜひご覧ください。 [日本共産党しまもとカクサン部](#) で検索を

11月10日に島本町臨時議会が開かれ高槻市にし尿処理を委託することについての規約案が審議されました。
来年度から高槻市に
島本町のし尿は、今まで通り町の委託業者によって集められ高槻市の唐崎にあるクリーンセンターまで運ばれ、そこで処理されます。
衛生化学処理場は解体
跡地は高槻市へ提供
島本町のし尿を処理している、高槻市東上牧にある衛生化学処理場は施設も老朽化しており、また住宅地内にあることもあって地元からは長年移転が求められていました。
高槻市にし尿処理を委託することで、現処理場は解体・撤去され、跡地は高槻市に無償譲渡